※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　職業科

教科	工業	科目	実習	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インテリア･クラフト･デザインの系列をローテーションしながら、系列ごとの基礎学習を通して、幅広い知識や技術、安全衛生に対する考え方などを学んでいきます。
また、幅広い学びを進めていく過程で将来の進路と関連付けながら、自分の適性や興味・関心を踏まえ、今後の系列・科目選択にも役立ててください。

２　学習の到達目標

工業に関する基礎的な技能について、実際に作品製作を体験し完成させることにより身につける。（知識及び技能）
作品製作を通してものづくりに関する考え方を学び､自ら工夫して作品を完成させる力を身につけるとともに、進路選択や系列・科目選択に役立てる。（思考力・判断力・表現力等）
工業３系列における工業技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解し、広い視野と倫理観を養い、工業の発展をはかる意欲的な態度を身につける。（学びに向かう力・人間性等）

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各実習に関する基礎的な知識と技能を身に付け、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身に付けている。	各実習に関する諸問題の適切な解決を目指して、広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身に付けている。	各実習に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的・実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	インテリア系	○木材加工の基礎知識 （木材加工）	a：木材や木材の加工等に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている。安全や環境に配慮して技能を活用しようとしている。 b：木材の加工等に関する技法の課題解決をめざして考えを深め、基礎的・基本的な技術を基に判断し、表現しようとしている。 c：木材の加工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組んでいる。	○	○	○
	クラフト系	○金属工芸の基礎知識 （金属加工）	a：基礎的な金属工芸に関する知識及び制作技法を身に付け、安全に正しく作業ができている。 b：材料の特性に合わせて最適な工具・工法を選定し、加工できている。 c：制作作業に意欲的に取り組み、丁寧な作業ができている。	○	○	○
	デザイン系	○烏口を使った直線・円弧描画練習（ポスターカラー仕上げ）	a:デザインの基礎的な知識を習得し、応用する力を身に付けている。実習を理解し、丁寧な作業ができている。 b:デザインの制作意図を、論理的思考で適切に表現できている。 c:デザインの発想に意欲的に取り組んでいる	○	○	○

※令和４年度以降入学生用

後半	インテリア系	○木材の組立てや仕上げの基礎知識	a: 木材の組立てや仕上げ加工等に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている。安全や環境に配慮して技能を活用しようとしている。 b: 木材の組立てや仕上げ加工等に関する技法の課題解決をめざして考えを深め、基礎的・基本的な技術を基に判断し、表現しようとしている。 c: 木材の組立てや仕上げ等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組んでいる。	○	○	○
	クラフト系	○七宝の基礎知識	a: 基礎的な七宝に関する知識及び制作技法を身に付け、安全に正しく作業ができている。 b: 材料の特性に合わせて最適な工具・工法を選定し、加工できている。 c: 制作作業に意欲的に取り組み、丁寧な作業ができている。	○	○	○
	デザイン系	○直線と円の組み合わせによる平面構成（ポスターカラー仕上げ）	a:デザインの基礎的な知識を習得し、応用する力を身に付けている。実習を理解し、丁寧な作業ができている。 b:デザインの制作意図を、論理的思考で適切に表現できている。 c:デザインの発想に意欲的に取り組んでいる	○	○	○

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度